

35人学級、学力調査分析、ICT活用など、現場が課題に応じて動けるよう支援

福岡県 福岡市教育委員会

全市立小・中学校で小中連携を展開している福岡県福岡市。中学校区単位で協議しながら、学校規模や地域性、課題に応じた連携を進めている。2019年度からは、特に重視する教育施策の1つに小中連携を据え、ICT環境を整備して小・中学校の指導法や教材の共有を図るなど、学校現場を支援している。

福岡県福岡市 プロフィール

◎福岡県の県庁所在地。博多湾は古来から近隣諸国との玄関口として利用され、明治以降は九州地方の行政・経済・交通の中心地として発展。近年、人口が増加し、政令指定都市では5番目の人口を有する。大規模大学が多いことから10代・20代の若者の割合が全国平均より高い。

人口 約155万人 面積 約343km²
市立学校数 小学校145校、中学校69校、特別支援学校8校 高校4校 児童生徒数 約12万2,000人
電話 092-711-4111 (代表)
URL <https://www.city.fukuoka.lg.jp/kyouiku/>

小中連携教育の推進体制

各中学校区が市の方針を基に活動を協議

福岡県福岡市では、中学校区単位^{*1}で小中連携を推進している。2006年度、5つの中学校区での実践研究に始まり、2008年度までに全中学校区が導入した。同市が214校にも上る全市立小・中学校で小中連携を行うねらいを、学校指導課の齊藤啓一課長は次のように語る。

「すべての子どもが、学習内容や授業形態、周囲の人間関係など、小学校との違いを乗り越え、自分の力を発揮して、『中1ジャンプ』ができるようになる取り組みを、市内全校で行うべきだと考えました」

連携の軸は、福岡市教育委員会（以下、市教委）が、「福岡の子どもたちに大切にしてほしいこと」として示した「福岡スタンダード」（あいさつ・掃除、自学、立志）^{*2}に設定。①9年間の心身の変化や発達段階を見通した取り組み、②小学5年生～中学1年生の接続期に重点化した取り組みを、小・中学校の枠組みにとらわれずに行うこととした。

具体的な活動は、各中学校区内の小・中学校の教員から成る「小中連携教育推進委員会」（以下、推進委員会）で協議・決定する。以前は、市教委主催の小中合同研修会を利用して、研修会後に中学校区ごとに教員を集めて行っていた。連携開始から十数年が経った今は、協議の方法は各中学校区に一任している。

「本市は、市街地や農村部、新興住宅地など、地域性に富み、学校規模も異なります。そこで、取り組みを一律にせず、各推進委員会で小・中学校の連携のあり方を話し合った上で、中学校区ごとの課題に応じた特色ある取り組みを行っています」（齊藤課長）

市教委の支援策

基本方針と進め方を示し、連携の道筋をつける

市教委は、各中学校区が具体的な取り組みを協議できることを目指し、2008年度には、小中連携の手引き・実践事例集となる「小中連携教育の進め方」を、2009年度には、小中連携の方策と内容などをまとめた「小中連携教育推進指針」を、全市立小・



指導部 学校指導課
課長

齊藤啓一

さいとう・けいいち

福岡市立小学校校長を経て、2019年度から現職。



指導部 学校指導課
主任指導主事

永田 朗

ながた・あきら

福岡市立中学校教諭を経て、2019年度から現職。



指導部 学校指導課
主任指導主事

田中 恵子

たなか・けいこ

福岡市立小学校教諭を経て、2018年度から現職。

中学校に配布して、改めて市の基本方針を示した。並行して、2008年度から順次、施設一体型小中連携教育校3校を開校。市内7つの区ごとに拠点となる中学校区を設定し、先進校の実践を全市で共有している。

市教委の具体的な支援策としては、中学1年生の35人学級や、小学校での一部教科担任制を、学校の希望に

*1 1小1中、2小1中、3小1中、4小1中の4種類がある。

*2 2019年6月に策定した「第2次福岡市教育振興基本計画」から、「生活習慣の柱:あいさつ・掃除」「学びの柱:自学・とも学」「未来への柱:チャレンジ・立志」となっている。

応じて実施できるように制度化。さらに、市独自に小学3～5年生の国語・算数で実施する「学習定着度調査」*3の結果を、市教委が学校ごとに分析して配布している。分析結果から分かった情報は、推進委員会を通して同一中学校区内の中学校とも共有する。

「中学校も、市独自の学習定着度調査と『全国学力・学習状況調査』の結果を小学校と共有し、新入生の実態把握に活用しています」(齊藤課長)

市教委では、市立高校を含めた異校種間の人事交流も積極的に推進する。管理職・ミドルリーダーを中心に、毎年数十人が異校種に異動。一定期間勤務し、学校文化や指導法などへの理解を深めることで、戻った後に校種の違いを連携に生かしたり、自校種の指導に役立てたりしている。

成果と展望

「福岡スタイル」を掲げ、小中連携を一層強化

小中連携の最大の成果は、教員の意識の変化だ。小・中学校合同教員研修や相互の授業参観が中学校区単位で自主的に実施されるようになるなど、小・中学校間の交流が深まっている。

「小・中学校の教員は、ともに中学校卒業時の姿をイメージできるようになり、そこに至るまでの過程として、必要な指導を考えるようになりました。例えば、中学校の教員が小学校の教員にかけ算の指導法を聞き、計算が苦手な生徒に小学校での学習を思い出させながら指導する様子も見られます」(齊藤課長)

各中学校区では、学習・生活規律の共同実践、授業の流れの統一、中学校教員による出前授業、合同の学校行事などが行われている。それによって小・中学校間の垣根が低くなり、子どもが中学校生活に円滑に移行で

きるようになった。小学生が中学生をロールモデルにして、具体的な目標を描くようになったことも成果だ。

その一方で、中学校への適応について、解消しきれっていない課題もある。加えて、新学習指導要領でも小・中学校間の接続の強化が示されたことから、同市では今後、小中連携教育の一層の充実を図る。

2019年6月策定の「第2次福岡市教育振興基本計画」では、目指す子ども像を「やさしさとたくましさをもち ともに学び未来を創り出す子ども」と設定。その達成に向けて、全市立小・中学校が重視する教育方法として示した「福岡スタイル」の1つに、「9年間を見通した小中連携教育」を掲げている。

そして、教育実践体制は「6-3」とすることにした。以前は、発達段階に応じた「4-3-2」としていたが、「福岡スタイル」では、小学校高学年と中学1年生をひとくくりにする考え方は残しつつも、教科指導は、教育課程の区分に則る選択をしている(図)。

「英語の教科化などの変更がある小学校では、6年間で行われる教育活動を担保する必要があると考えました。小・中学校が別々の校種である以上、教科指導は、教育課程に則るべきだと判断しました」(齊藤課長)

今後の重点施策

優れた授業の動画を配信 教材も小中で共有可能に

小中連携教育の充実に向けた施策のもう1つの柱は、ICTの活用だ。2020年2月、動画配信機能を持つ教育専用クラウド「福岡TSUNAGARU Cloud」*4の運用を開始。第1弾として、児童・生徒向けサイトに、市教委が作成した学習内容や学び方のポイントをまとめた動画を公開した。2月時点で25本を公開済みで、今後10年間で500本の配信を目指す。

教員向けのサイトには、自主研修に役立つよう、優れた教員の授業動画や、授業で活用できるプリントなどの教材を配信する。授業動画は市教委が作成し、教材は教員が実際に授業で活用しているプリントや画像などを公開する予定だ。

学校指導課の永田朗主任指導主事は、クラウドへの期待をこう語る。

「優れた教材を小・中学校で共有すれば、中学校の教員が小学校の教材を活用した授業ができ、子どもの学び直しに役立ちます。授業準備の効率化や教材研究の深化にもつなげるため、現場とともにコンテンツを充実させていく予定です」

小学校で教科化される英語教育は、小中連携が授業の質を高めると捉え

図 2019年度からの小中連携教育の教育実践体制

| 発達段階区分 | 小学校 | | | 中学校 | |
|---------|---|------|-----|--|--------|
| | 低学年 | 中学年 | 高学年 | 中1 | 中2・3 |
| 35人以下学級 | 小1 (法定) | 小2～4 | | 引き続き検証 中1 (各校の判断で実施) | 引き続き検証 |
| 少人数指導 | チーム・ティーチング(学級を複数の教員で指導する体制) ・児童生徒のつまずきに応じた指導 ・学習規律の徹底 | | | | |
| 一部教科担任制 | | | | 習熟度別による分割指導(学級を児童生徒の学力実態等に基づき分割して指導する体制) ・児童生徒の学習状況に応じた指導 ・学習意欲の向上 | |
| | | | | 小5～6 | |

少人数指導や一部教科担任制は、各校が自校の課題を踏まえて、工夫して取り組んでいる。

*福岡市教育委員会提供資料を基に編集部で作成。

*3 2010年度から実施。小学3～5年生を対象に国語・算数の定着度を調査(小学3年生は算数のみ)。学習状況や生活習慣等に関する実態調査も同時に行う。

*4 詳細は、<http://www.fukuokacity-ftc.jp>を参照。

ている。小学5・6年生では英語を母国語とする講師「ネイティブ・スピーカー（NS）」を、小学3・4年生では留学生や英語が堪能な地域人材を「ゲスト・ティーチャー（GT）」として配置し、担任と2人で授業を行う体制としている。学校指導課の田中恵子主任指導主事は、小中連携による英語教育の今後を次のように展望する。

「小学校の教員が1人で英語の授業をできるようになることが、目標の1つです。英語の研修会や研究授業

など、中学校英語科教員と小学校教員がともに学ぶ場を各中学校区に設けるよう推進し、小学校への乗り入れ授業の方法も模索していきます」

2019年度には、博多湾に浮かぶ能古島のしまに施設一体型小中一貫教育校を開校した。①小学1年生からの英語教育、②地域を学ぶ新設教科「ふるさと科」、③ICTを活用した授業の推進、④小中教員の協働体制の4つを教育活動の特色とし、実践のための施設や人材を整備している（コラム参照）。

「本市初の小中一貫教育校では、新しい実践を試し、①他の校区でそのまま実践できる活動、②応用すれば実践できる活動、③一般の学校では実践が難しい活動の3通りに整理し、各校が採り入れやすいように情報提供をしていきます」（齊藤課長）

2019年度末までには、「授業改善の手引き」を新学習指導要領で重視される内容を踏まえて改訂する。市教委では、今後も様々な形で小中連携教育の実践を支援していく。

コラム

福岡市立初！
小中一貫教育校

能古島小中学校（福岡市立能古小学校、能古中学校）

教員、地域が思いを1つにし、9年間で子どもが伸びる学校づくりを推進

◎教科担任制で小・中学校の一貫した授業づくりを目指す

島民人口の約42%が65歳以上と高齢化が進む能古島では、地域の担い手の育成を望む島民の要望もあり、校舎改修を機に島唯一の小学校と中学校を再編し、小中一貫教育校とした。1学年の児童・生徒数は20人に設定。同校には、小規模校特別転入制度により、約7割の児童・生徒が島外から通学する。

教育課程は「4-5」制で、小学校高学年では、算数・英語と実技4教科を教科担任制とした。図画工作や家庭科等は、中学校教員が小学校の授業も受け持つ。中学校教員の専門的な指導により、図画コンクールで入賞する児童が増えた。各教科の年間指導計画は、小・中学校の教員が協働で作成。英語では9年間のCan-doリストも作成した。タブレット端末は、小・中学校3クラスが同時に活用できる数として60台を配置。学習履歴を蓄積し、個別支援に生かしている。

数々の特色ある教育活動の中で、最も重要なのはカリキュラム・マネジメントの視点だと、松下誠校長は語る。

「小学校の指導では、中学校のどの内容につながるかを意識した授業づくりが重要であり、中学校では、小学校でどう学んだのかを理解した上で指導することによって、子どもの学びの質が高まります。小中一貫教育により、そうした高い学習効果が得られる授業をつくるのが、今後の課題です」

そのための鍵を握るのが、教員間の連携・協働だ。週時程を工夫して、下校時刻を通常は16時、火曜日は15時とし、月曜日は小・中学校合同の教科打ち合わせ、火曜日は職員会議や研修会をそれぞれ放課後に設定。さらに、職員室には、教員同士が自由に打ち合わせのできる場所を設けた（写真）。

◎地域と連携した活動で大きく育つ子どもたち

以前から生活科や「総合的な学習の時間」で地域学習を行ってきたことで、地域と学校の信頼関係は構築されている。小中一貫教育校への再編の際には、保護者や地域に改めて丁寧



写真 職員室は、小・中学校合同としている。小学校籍と中学校籍の教員の机をそれぞれまとめ、その間に打ち合わせができるスペースを設けた。教員同士のコミュニケーションの場となっている。

に説明し、理解を求めた。そして、生活科や「総合的な学習の時間」に代わって設けられた、地域について学ぶ「ふるさと科」の活動でも、引き続き地域の協力を支えられている。

「本校の伝統行事である博多湾横断遠泳大会などで、地域の人たちが学校のために働く姿を間近に見ている子どもたちは、地域行事にも自然と参加するようになります」（松下校長）

卒業後も、島外出身者が島の成人式に参加するなど、子どもにとって島は第2のふるさとになっている。

「9年間の活動をどのように組み立て、一人ひとりを伸ばしていくのか。新たな実践を発信し、市全体の教育の質向上に寄与するのが、本市初の小中一貫教育校としての役割だと捉えています。子どものために力を合わせようという思いは、小・中学校、そして、地域も強く持っています。その強みを生かして、教育活動を充実させていきます」（松下校長）



校長 松下 誠 まつした・まこと

教職歴34年。同校に赴任して3年目。

能古島小中学校プロフィール

児童・生徒数 178人 学級数 10学級（うち特別支援学級1） 電話 092-881-0858（小学校）／092-881-0595（中学校）
URL <http://www.fuku-c.ed.jp/schoolhp/elnoke/>